



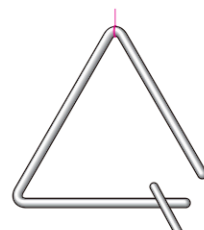
理科3年 音が出る時のようすとつたわり方

月 日

★ 音が出ているときのもののようすについて、()にあてはまる言葉をかこう。

60点(1つ10点)

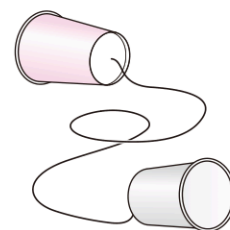
- (1) ものから音が出る時、ものは()いる。
ふるえを止めると、音は()。
- (2) トライアングルをたたく強さを変えて、音の大きさがどうなるのかを調べました。「大き」、「小さ」のあてはまるほうをかこう。
- トライアングルを強くたたくと、()な音が出る。
また、トライアングルを弱くたたくと、()な音が出る。
- 大きい音はふるえが()く、小さい音はふるえが()い。



★ 音がつたわるときのもののようすについて、糸電話をつくって調べます。()にあてはまる言葉をかこう。

30点(1つ10点)

- (1) 糸電話の糸をピンとはって、話します。
話しているときに糸にそっとふれると、糸が()いる。
- (2) 糸電話で話しているときに、糸をつまみます。
糸をつまむと()が止まって、()はつたわらなくなる。



10点(なぞりは点数なし)

だいじな
まとめ



ものから音が出ているとき、ものは(ふるえて)いる。
大きい音は、ふるえが {大きい・小さい}。音がつたわる
とき、音をつたえているものは、ふるえている。



★ (1)「とまる」、「ふるえて」からえらびましょう。